



2016年3月作成

珠洲市ため池ハザードマップ 大谷町

ため池ハザードマップとは？

ため池ハザードマップは、池が決壊した場合の浸水想定範囲と、避難場所などを示したものです。浸水深想定などの情報を提供することで、災害時の自主的な避難に役立てていただくことを目的に作成しています。

※満水状態のため池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

- 想定される浸水範囲は、ため池の被災状況・気象条件等によって異なりますのでご注意ください。
- ため池決壊の2大要因である“大雨”と“地震”の状況によっては、避難行動が大きく異なる場合があります。**ため池以外の避難情報にも注意し、状況を確認してから避難や災害応急対応をおこなしましょう。**

地図記号

- 避難場所
- 公民館・集会所など
- (グレー表示の場合は、使用に注意が必要です)
- 郵便局
- ヘリポート
- 消防署・分署・分遣所
- 病院
- 警察署・交番・駐在所
- 主要道

避難経路上の危険箇所

- 土砂災害**
- 土砂災害の警戒区域
- 津波**
- 津波の浸水想定範囲

※詳しくは、土砂災害・津波の各ハザードマップをご覧ください。

大谷町

作ヶ平

新池

小づつみ池

中池

峠の池

大池

浸水深

ため池はん濫時に想定される浸水深

- 0.5m 未満の区域
- 0.5m ~ 3.0m 未満の区域
- 3.0m 以上の区域

避難場所

施設名	備考
西部小学校	土砂災害 ×
大谷中学校	土砂災害 × 津波 ×
大谷公民館	津波 ×

※ため池の浸水想定範囲が海岸線付近で直線的に切れているのは、海岸線を越えると解析に多大な時間がかかるため、解析ソフトで長方形のエリアを設定し、その中で解析を行ったためだと思われます。現実的には、浸水想定範囲は海へ流れ出ていく形になっているかと思われます。

0 S=1:8,500 300m